

平塚フィルハーモニー管弦楽団

HIRATSUKA
PHILHARMONIC
ORCHESTRA第35回
定期演奏会2026
6.28
sun.ひらしん平塚
文化芸術ホール
大ホール

チェロ独奏：白井 彩

チケット

¥1,000 (全席自由)

前売券 4/1より販売開始
ひらしん平塚文化芸術ホール ☎0463-79-9907
サクラ書店 (ラスカ平塚5F) ☎0463-23-2751
バンダレコード (ららぽーと平塚3F) ☎0463-73-8353
ラディアン (二宮) ☎0463-72-6911



電子チケット

<https://tiket.jp/9316/60878>

当日券 12:30より会場窓口にて販売開始

指揮
田部井 剛チェロ独奏
白井 彩J. ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲
J. Brahms: Variationen über ein Thema von HaydnE. ラロ：チェロ協奏曲ニ短調
E. Lalo: Cello Concerto in D minorJ. ブラームス (シェーンベルク編曲)：
ピアノ四重奏曲第1番ト短調 作品25 (管弦楽版)
J. Brahms [arr. by A. Schönberg]:
Piano Quartet No. 1 in G minor, op. 25 [Orchestral ver.]

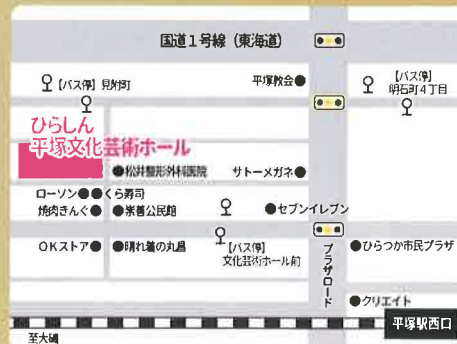
開場 13:00 開演 14:00

※ 賛助会員様のみ12:45から入場できます。
※ 未就学のお子様の入場はご遠慮ください。

主催 / 平塚フィルハーモニー管弦楽団

後援 / 平塚市・平塚フィルハーモニー管弦楽団賛助会
(公財)平塚市まちづくり財団・平塚市教育委員会

お問い合わせ先

☎ 080-3095-3763
✉ hiratukaphil@yahoo.co.jp
🌐 <https://www.hiratsukaphil.com/>ACCESS JR「平塚駅」西口より徒歩8分
※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

Cello 白井 彩

Aya Shirai



北鎌倉女子学園高等学校音楽科卒業。東京藝術大学卒業。同大学による室内楽定期演奏会に弦楽四重奏として出演。ハンガリー国立リスト音楽院マスター修了。選抜にて卒業試験リサイタルをリスト音楽院大ホールにて開催。また、同音楽院にて室内楽科ポストグラデュエイト課程においてもディプロマを取得。ハンガリー政府奨学金生。ハンガリー国立サヴァリア交響楽団、ブダペスト市立ズグロー交響楽団団員を経て、2020年3月完全帰国。小田原フィルハーモニー交響楽団、湘南シンフォニエッタ等のオーケストラとコンチェルトを度々共演。2022年3月には、小田原三の丸ホールにて開館記念事業ホール企画・2日間別プログラムリサイタル「ヒロ弾きのアーヤ」に挑戦し好評を得た。

これまでに、チェロを前田昌利、齋藤章一、河野文昭、C.オンツァイ、L.メズー、M.メズーに、室内楽を岡山潔、松原勝也、山崎伸子、M.グヤーシュ、M.ペレーニ、K.ボトヴァイに師事。

現在、小田原ジュニア弦楽合奏団講師。アンサンブルラディアント音楽監督。小田原カルチャーアワード副委員長。小田原音楽連盟会長。

早稲田大学商学部卒業。東京音楽大学指揮科研究生修了、東京芸術大学指揮科卒業。これまでに指揮法を遠藤雅古、神宮章、武藤英明、佐藤功太郎、ジェームズ・ロックハート、広上淳一、三石精一の各氏に、ピアノを岩津章子、秦はるひ、藤田雅の諸氏に師事。1999年には芸大在学中に日本フィルハーモニー交響楽団にて巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・デラノワ作曲「5月の協奏曲」を協演・指揮（日本初演）。ソリストであるハイドシェック氏は、田部井の読譜能力の高さ、また叙情的でリズムに溢れた演奏に対し、「ヤング・トスカニーニ」と讃えた。2002年には「モーツァルト名曲コンサート」にて再びハイドシェック氏と共演、新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮。青柳いづみこ著「ピアニストがみたピアニスト」<Pianistes vus par pianiste>（白水社刊）では、そこでの協奏曲における絶妙な指揮ぶりについて著述されている。2003年には室内合奏団「カメラータ・ジオン」（Camerata Jion）を結成し、ヴァイオリニスト川島成道、チェリスト青木十良の諸氏と共演するなど積極的な活動をしている。2005年にはハイドシェック夫妻との国内ツアーを成功させ話題を呼んだ。そのライヴ録音が仏アンテグラル社（Integral Classics France INT 221.156）よりリリースされている。また、漆原啓子、宮田大、林峰男、上村昇、永井和子、佐々木典子、カテリーナショット、宗次郎、クミコ、岡本知高、故江戸家猫八、谷川俊太郎などジャンルを問わず内外の様々なアーティストと共演し、高い信頼が寄せられている。このほか群馬交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティアールハーモニック管弦楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、東京俊成ウィンドオーケストラ、ザ・シンフォニーホールチェンバーアンサンブル等を指揮。2006年にはチェコの名門、ターリヒ室内管を指揮し、モーツァルトの交響曲をレコーディング、そのCDがキングインターナショナルよりリリースされている（STUDIO FLORA B-2704）。

2010年には日本フィルハーモニー交響楽団にて文化庁主催公演（計9公演）を指揮した。2012年より桐蔭学園「第九の会」指揮者を務める。2013年には伝説のチェリストと謳われる、クリスティーン・ワレフスカ女史とドボルジャークのチェロ協奏曲を共演、カメラータジオンを指揮、氏より「偉大な才能」と高く評価された。2018年にはハイドシェック来日50周年記念ツアーを指揮し、その公演は音楽の友誌上等で絶賛される。

また、ピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィル首席チェロ奏者フリッツ・ドレシヤル（Fritz Dolezal）、勝部太、寺谷千枝子、平松英子諸氏と共演している。2009年には白土文雄（チューリッヒ・トーンハレ元首席コントラバス奏者）のレコーディングにチェンバロ奏者として参加、Harmony社より「モノログ」がリリースされた（HCC2049）。2012年にはドビュッシー生誕150周年に際し、浜離宮朝日ホールにて行われた、文学キャパレ「黒猫」とその仲間たち、また、カワイコンサートサロン「パウゼ」にて行われたドビュッシーフェスティバル2012に出演、青柳いづみこ氏と連弾曲を演奏、好評を博した。2013年には再び白土文雄とのデュオアルバム“Basso d'Amore”をOpus55よりリリースし、稀有な室内楽奏者としての高い評価がなされている（OPFF-10019）。2020年にはカブレ編によるピアノ2台6手版ドビュッシーの「海」のCDをottava社よりリリース、レコード芸術誌特選盤となる。上毛芸術文化賞受賞。

Conductor 田部井 剛



平塚フィルハーモニー
管弦楽団

Hiratsuka Philharmonic Orchestra

「平塚に市民によるオーケストラを」という志をもった平塚市在住の音楽愛好家が中心となり、平成3年3月に設立されました。定期演奏会を含め、年2回の自主公演をベースに、財団法人平塚市文化スポーツまちづくり財団主催の「湘南ひらつか第九のつどい」、「平塚市民オペラガラコンサート」、「はじめてのオーケストラ」等に多数出演してきました。また公民館主催のファミリーコンサートや、小中学校での音楽教室などにも積極的に出演し、地域に根ざした音楽活動を行って、地域文化の向上に寄与しています。

